

# 回覧

# 第1回城崎・港地域 デザイン懇談会を開催しました

3月18日（木）城崎庁舎で、「城崎・港地域デザイン懇談会」を開催しました。「地域デザイン懇談会」とは、地域に必要な施設・公共サービス提供機能について、市民の方々と一緒に議論する場です。

はじめに市から、これまでの公共施設再編、公共施設マネジメントの取組みなどについて説明し、そのあと「城崎・港地域内にある公共施設の現状と利用実態等の確認とそれを共有」するために、参加者の皆さまに5つの指標（① 生活機能 ② 利用機能 ③ 経済機能 ④ 安全安心機能 ⑤ 風土形成機能）から各公共施設を診断していただきました。その結果を見ながら、さらに意見交換も行いました。参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

## <懇談会の様子>



## 第2回地域デザイン懇談会開催のお知らせ

開催日時	開催場所	内容（予定）
2021年5月12日（水） 午後7時～	城崎庁舎	地域住民の生活と身近な公共施設との関わり

### 【懇談会の傍聴について】

傍聴をご希望される方は、城崎振興局地域振興課へ電話、またはEメールにてお申し込みください。

- (1) 対象者：城崎・港地域に在住、もしくは在勤の方
- (2) 定員：10名まで（定員になり次第、申込受付は終了します。）
- (3) 申込先：電話番号 21-9065 Eメール：kinosaki-chiiki@city.toyooka.lg.jp
- (4) 申込時連絡内容：① 氏名 ② 住所 ③ 連絡先電話番号
- (5) 申込期限：2021年5月10日（月）

# 参加者の皆さまからの意見の一部を紹介します

- ◆ お金がかかるなら減らすことも必要。市はやりやすいことしかない。
- ◆ 全ての施設を一度に考えるのは無理だと思う。
- ◆ 市の方針はすでに出ており、住民に相談したという既成事実が作りただけなのではないか。
- ◆ 健康福祉センターは、弱い人のためのもの。この場で私たちが議論するのはどうなのだろうか。これでは、本当に必要な人の声が市に届かない。
- ◆ エコハウスは、8割がたの市民は知らないのでは。何のため、どんな時に使われているのか。
- ◆ 「ハコモノ」だけでなく、「道路」なども含めると、維持管理料が大変。
- ◆ 安心・安全などのサービスの低下だけでは避けてほしい。
- ◆ 公共施設を残してほしい気持ちと財政とのバランスが大事なのは。
- ◆ どこが最終目標なのか。自分にとっては大事な施設でも、他人にとってはどうなのか。
- ◆ ボートセンター、エコハウスは民間委託して活用しても良いのでは。
- ◆ 城崎と港は気質が異なる。港には公共施設が少ない。
- ◆ 文化人が地域から出て行ってしまう。子どもが減る。悪循環。
- ◆ 港と城崎の中学校は、今後統合となる。港保育園の跡地を整備して、新しく統合する中学校にどうだろうか。
- ◆ 市営住宅は住んでいる人には重要である。評価するのは難しい。
- ◆ コロナの経験から、時間に余裕を持った見通しが必要である。
- ◆ 話し合いの時間ももっと必要。話し合う時間が取れないなら時間の無駄。
- ◆ 維持費、修繕費等のお金のデータを示してほしい。
- ◆ 話し合いの結果を活用するのか。聞いた理由にするだけなのか。

## 【参加者アンケートより】

- ◆ 説明が分かりやすく良かったです。知らない施設も多かったけど、写真付きのプリントがあって良かったです。
- ◆ 市の取り組みの姿勢は理解できるが…
- ◆ 参加者も活発な意見を出されていて良かったです。
- ◆ 市の方から様々な情報をいただき、市の重大な課題について知ることが出来た。
- ◆ 城崎と港を分離した方がいい。
- ◆ もう少し有意義な話し合いができれば良かったと思いました。マークシートは事前に家で記入できたのでは…自分が住んでいない地域の事は分からないと思います。
- ◆ 考える良い機会である。
- ◆ 城崎や港に多くの公共施設があることが分かりました。
- ◆ 港・城崎地域でもこれだけたくさんの公共施設があることを知った。公共施設マネジメントについては多くの市民に理解してもらい、今後十分に協議検討の必要があると思う。
- ◆ 施設のデータを事前に配布して、知識を深めてからワークショップをした方が良い。

当日の配布資料など、詳細は市ホームページをご覧ください。

## 【お問い合わせ先】

公共施設マネジメント推進室 電話 21-9129  
城崎振興局 地域振興課 電話 21-9065